「(仮称) かけがわ健康医療基本条例」に関するパブリックコメントについて

(募集期間：平成27年12月10日から平成28年1月8日)

1 実施期間

平成27年12月10日(木)から平成28年1月8日(金)

2 意見数(意見書提出者数)

15件(3名)

3 意見数(要望書提出者数)

10件(1名)

4 提出された意見及び要望の概要と特別委員会の考え方

No	項目	提出された意見の概要	委員会の考え方
1	条例全体	明記されている役割・責務を果たし、更なる向上に努めてもらいたい。そのために、早急に条例化して頂きますこと希望します。	市民、医療機関、行政など関係機関が協働し、安心して保健医療サービスを受けることができる地域完結型の医療体制を確立するとともに、健康な生活と長寿を享受する健康長寿社会を形成するため、この条例の制定を目指していきます。
2	条例全体	現状認識が全く述べられずに理念だけを述べても一般論にしかならない。現状分析を丁寧に行う必要がある。	今回は、基本条例として制定し、さらに現状分析した上で、施策展開を検討していきます。
3	条例全体	弱い人や困っている人にこそもっと目を向け手を差し伸べるのが行政の役割ではないのか。この部分が全く欠落している。孤独死を無くすことを目標に掲げて良いのではないか。	今回は、基本条例として制定し、ご意見を参考にして施策展開を検討していきます。
4	条例全体	健康長寿社会を目指すためには医療と介護が一体的(包括的)に取り組むことの必要性が国の方針としても強調されている。健康・医療を主にするにしても介護との連携について記述が必要。	いただいたご意見のとおり、健康・医療・介護の包括的な連携は重要だと考えます。 条例には、基本理念として明記してあります。

5	条例全体	「3 市民にお願いすること」「4医療機関にお願いすること」「5市の役割」「6 基本的施策の実施」の順で記載されていますが、逆転していると思う。現状認識（分析）ができていないため、市民へのお願いが一番に来ていて押しつけとしか受け止められない。	自助・共助・公助の精神に基づく、市民協働の考えのもとに市民主体として明記してあります。
6	条例全体	市民に一人一人が安心して医療を受けられるようにすること。	安心して医療を受けられるように、地域完結型の医療体制を目指していきます。
7	条例全体	元気な方々が医者にかからない健康を維持する対策をすることに力点をおいて戴くことが重要。	今回は、基本条例として制定し、さらに現状分析した上で、施策展開を検討していきます。
8	条例全体	介護と医療を切り離さず、介護を受けている方々が安心できる医療体制を。	ご意見のとおり、健康・医療・介護の包括的な連携は重要だと考えます。 条例には、基本理念として明記してあります。
9	目的	「市民、医療機関及び市の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項と果たすべき役割」は、「市民及び医療機関の役割を明らかにするとともに、市の施策の基本となる事項と果たすべき役割を」に修正	市民、医療機関及び市の責務（役割）を明らかにしたうえで、ご意見を参考に検討していきます。
10	目的の考え方	「市民、医療機関及び市が果たすべき責務や施策等」は、「市民、医療機関及び市が果たすべき役割や施策等」に修正	市民、医療機関及び市の責務（役割）を明らかにしたうえで、ご意見を参考に検討していきます。
11	基本理念の考え方	「自らの責務を果たしながら」は、「自らの役割・責務を果たしながら」に修正	市民、医療機関及び市の責務（役割）を明らかにしたうえで、ご意見を参考に検討していきます。
12	市の役割	「5市の役割」は「5市が果たすべき役割」に修正	ご意見を参考に検討していきます。

13	市民にお願いすること	「良好な生活習慣や食生活に留意し」とあるのは一般的には当然のことだが、年金や収入が少ない方がどんな生活をしてがんばっているのかご存知でしょうか？食事や睡眠が不規則だけどそうしないと生活ができない、こういう現実をどう見ているのか。	今回は、基本条例として制定し、ご意見を参考にして施策展開を検討していきます。
14	市民にお願いすること	「診療時間内に受診しましょう」とあるが、実際にはもう少しがまんすれば治るかもと思っているうちにいよいよ我慢できなくなる方が多いのではないか。診療時間内に受診することをお願いすることで受診を控えてしまい命にかかわることにもなりかねないのではないか。	ここでは、いわゆるコンビニ受診を抑制することが目的となっています。
15	市民にお願いすること	「医療の担い手に対して信頼と感謝の気持ち」とあるが、そういう気持ちを持たない対応をする患者が掛川では多いということでしょうか？病院等でのトラブルはそこが原因とは思いません。あまり道徳的な言い方はやめたほうが良いと思う。	今回は、基本条例として制定し、ご意見を参考に検討していきます。
16	市民にお願いすること	「最終段階における医療や過ごし方を書き記す」とありますが、それができれば最高です。市として「エンディングノート」のような何らかのとりくみを考えているのか。	今回は、基本条例として制定し、さらに現状分析した上で、施策展開を検討していきます。
17	医療機関にお願いすること	内容はほとんどの医療機関が理念としても掲げて当然のことのように取り組んでいることではないか。掛川市内の医療機関がこうした取り組みをやっていないという現状認識なのではないか？市としてこういうことをしますということの方が必要であり受け止められるのではないか。	ご意見のとおり、市内の医療機関では既に取り組んでいる内容となっています。しかし、重要な内容のため明記しています。
18	基本的施策の実施	「基本施策」も一般的すぎると思う。弱者に寄り添う姿勢が欠如している。	今回は、基本条例として制定し、ご意見を参考にして施策展開を検討していきます。

19	その他	資格証明書と短期保険証をなくし、安心して医療が受けられる対策を。	今回は、基本条例として制定し、ご意見を参考にして施策展開を検討していきます。
20	その他	健康が維持できる「高齢者対策」を。	今回は、基本条例として制定し、さらに現状分析した上で、施策展開を検討していきます。
21	その他	中東遠総合医療センターへ高齢者が安心して通える福祉バスを。	今回は、基本条例として制定し、さらに現状分析した上で、施策展開を検討していきます。
22	その他	医療従事者の確保などにも市も関わる必要がある。	ご要望として受け止めます。
23	その他	医療従事者は患者の立場に立つことが大切。	
24	その他	市は健康診断を積極的に受診出来るように財政的支援を重視する。	
25	その他	予防医学を市民個人の責任にするのではなく、三者が協働して市全体で行うことが必要などの要望も出されているので、実情を掴み改善して欲しい。	